

カマスタ

特定非営利活動法人
自然文化誌研究会 会報誌

107号

2012年3月1日発行号

今年もどんどん活動しましょう！！

雪の多い冬でしたが、いつの間にか春の気配が漂っています。先月のうちに通常総会も行い、活動予定を確認しました。今年もやりますよ～。皆さまのご参加をお待ちしています～。



—— INCH NEWS —— ※「INCH」とは、自然文化誌研究会の愛称です。

○「環境学習シンポジウム」

2月18日に代々木のオリンピックセンターにて、「環境学習シンポジウム」が開催されました。主催は東京学芸大学環境教育研究センター（旧環境教育実践施設・農場）です。午前中は活動を行う団体の方や研究者の発表。午後は東京学芸大学の環境教育研究センターの皆さまからの発表となりました。

本会の代表理事 中込卓男氏も発表を行い、自然文化誌研究会の活動と理念を、改めて世間に知らしめることになりました。

○ログハウスづくりも更に進みました！！

隔週ペースで進んでいるログ作業も進んできました。

既に2月のうち屋根が張られています。まだ完成ではありませんが、屋根の下で活動も行えるようになります。雪の中の作業でしたが多くの方が集いました、今週末もにぎやかに開催中です！！

—もくじ—

第8回通常総会の報告	2
活動の報告	4
ちえのわ農学校報告・案内	5
活動の案内	7
INCHの楽しい仲間たち vol.2	9
植物と人々の博物館 vol.7	10
小菅村の動き vol.7	11
事務局だより	12



第8回通常総会の報告

2012.2.5

2月5日(日)に、植物と人々の博物館(小菅村中央公民館)にて開催しました。

本会の活動予定を中心に密度の濃い話し合いができました。今年も多くの活動を実施していきますので、皆さまのご協力、ご参加の程よろしくお願ひします。

第8回通常総会に関しては紙面の都合上、活動予定と決算報告のみ掲載しました。ホームページにて、第8回通常総会の資料の閲覧が可能です。ご承知くださいませ。

内規で、会計について追加をしました。

- ① 特別維持会員(年額 100,000 円)を作りました。
- ② 小菅村特別会員(1口 1,000 円より、無制限)を作りました。

※会員を増やしていけるように、魅力ある会づくりをしていきたいと思ひます。

第8回通常総会の報告 2012年度 自然文化誌研究会の活動予定 ぜひご参加ください~!!

月日	分類	事業	場所	備考など
2/5	総会	第8回通常総会	小菅村・植物と人々の博物館	
2/18	シンポ	環境学習シンポジウム	代々木オリンピックセンター	
3/10-11	のびと	味噌づくりとこんにやくづくり	小菅村	そば打ちも行います。
3/30-4/1	冒険	みなかみ雪中キャンプ	群馬県みなかみ町	
4/21	共催	第8期ちえのわ農学校	東京学芸大環境教育研究センター	通年の講座の第1回目
4/22	広報	立川環境フェア出展	立川市昭和記念公園	ヤマメ販売で出店します。
4/29	デイ	野草のてんぷらとお茶つみ	東京学芸大環境教育研究センター	GWのスタッフ会議開催予定
5/3-5	冒険	むらまつりキャンプ	小菅村	
5/4	PPM	植物と人々の博物館 展示開放	多摩源流まつりに合わせて	
5/12	PPM	雑穀栽培講習会	小菅村	植物と人々の博物館友の会総会も予定
7月下旬	のびと	源流での登山道整備	甲武信小屋周辺	
8/2-8	冒険	こすげ冒険学校	小菅村	6泊7日です。
8/11-12	冒険	やまめキャンプ	小菅村	2つのキャンプで2泊3日の参加も可能です。
8/12-13	冒険	いわなキャンプ	小菅村	
8/18-27	のびと	タイ環境学習キャンプ	タイ	
9/15-17	PPM	雑穀研究会シンポジウム	小菅村	
9/29-30	主催	INCHこすげライブ 2011	小菅村	2つの企画を一緒に開催しちゃいます。
	のびと	きのこキャンプ	小菅村	
10/6-8	ELF	CONE コーディネーター養成事業	小菅村	
10月中	PPM	雑穀の収穫と大地の恵まつり	小菅村	
12月中	のびと	星空観察会	小菅村	
12/22-24	冒険	まふゆのキャンプ	小菅村	

※ログハウス企画第2弾「ログビルダー養成講座」に関しては、順次開催する予定です。また、ログハウス作業は、毎月2回のペースで行っています。事務局までご相談ください。

※日程に関しては若干の変更もありますのでご承知くださいませ。

第8回通常総会の報告 2011年度 自然文化誌研究会の決算報告

平成23年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支計算書

平成23年1月1日から平成23年12月31日まで

特定非営利活動法人自然文化誌研究会

科 目	金 額 (単位:円)	
I 収入の部		
1 会費収入		
会費収入		598,000
2 事業収入		
(1) 野外環境学習事業収入	2,188,110	2,308,110
(2) 指導者養成事業収入	120,000	
3 委託事業収入		428,623
4 補助金等収入		
助成金収入		1,245,000
5 寄付金収入		
寄付金収入		303,000
6 雑収入		0
当期収入合計(A)		4,882,733
前期繰越収支差額		-1,514,629
収入合計(B)		3,368,104
II 支出の部		
1 事業費		
(1) 野外環境学習事業費	1,581,520	
(2) 指導者養成事業費	19,501	
		1,601,021
2 一般管理費		
(1) 職員給与	1,380,000	
(2) 通信費	99,770	
(3) 事務局運営費	41,540	
燃料代	244,671	
電話代	197,928	
事務用品費	48,481	
書籍資料代	0	
印刷・製本費	0	
備品代	638,456	
		2,650,846
3 予備費		
4 補助金支出		
予備費	384,500	384,500
当期支出合計(C)		4,636,367
当期収支差額(A-C)		246,366
時期繰越収支差額(B-C)		-1,268,263

2011年度の助成金収入は、日本たばこ産業(JT)より『2011年度 JT 青少年育成に関するNPO 助成事業』により助成を受けたものです。

また、「子どもゆめ基金」より平成23年度活動に対しての助成決定を受けています。

活動報告

その1 冒険学校「まふゆのキャンプ」 12.23~25(2泊3日)

毎年恒例『冒険学校まふゆのキャンプ』。小菅村ならではの新しいプログラムも取り入れました。新たなプログラムとしては・・・

①炭焼き窯の体験：出来上がっている炭を窯から出します。いつも使っている炭は、キャンプ場のオーナー木下善晴さん手づくりの炭です。善晴さんの窯でご指導いただき、炭を出して切り分け、箱詰めをしました。今後は、炭焼き体験につなげていきたいと思います。



みんな真っ黒になりました。

②ロープ木登り体験：小菅村アドベンチャークラブ(KAC)のご指導で、夏に引き続き、ロープ木登り、ターザンのように滑走する「ジップライン」などを、小菅の湯近辺で行いました。参加者だけでなく、ほとんどのスタッフも体験することができました。



他にも多くのプログラムを行いました。

餅つき：キャンプ場と廣瀬屋旅館で2回やりました。

野鳥観察：加藤源久さんのご案内で行いました。

星空観察：天体望遠鏡も用意して行いました。星を眺める人

は、寝袋に入って眺め続けつつ、いびきの音が聞こえたりもしました。

地面を凍らせてスケートリンクを作ったり、焚き火で熱した火バサミで氷を溶かしながら造形したり、焚き火、薪割りをしたりしながら、密度の濃い2泊3日となりました。



＜参加者からいただいた感想＞

冬のキャンプには、いろいろあって楽しかったです。

キャンプのごはんは、とってもおいしくてたくさん食べちゃいました。バームクーヘン作りやホットケーキ作りなどもして楽しかったし、おいしかったです(^ ^) その他も、スケート場作りをして遊んだり、バードウォッチングで鳥の名前をたくさん覚えることもできました。餅つきもやったりしたのでちょっと大変だったけど、めっちゃおいしかったです。でも、一番楽しかったのは、ロープを使って木を登ったことです！いろいろな力を使って、ふだんは登れないぐらい高さの木を登って、自分でビックリしました。

とっても寒かったけど本当に楽しかったです！！

(大嶋美穂さん 小学校6年生)



キャンプ場では餅つきも行いました。

その3 「第7期ちえのわ農学校」

2011年度は次の2つを理念として畑や田んぼを中心に活動しました。

- ・自然の様々な表情と向き合いながら、昔ながらの知恵や文化にふれ、「種から胃袋まで」の道のりを実践することで、命・自然とのつながりや当たり前なものを改めて考えるきっかけ作りをする。
- ・農学校だからこそ出来る体験を通じて、子どもたちが仲間とのつながりを感じられるきっかけ作りをする。

第1回 4月16日:「農学校ってどんなところ？」

今年度最初の活動では、アイスブレーキングや、農園を散策したりするなど、オリエンテーションを行いました。午後は、植える野菜をくじびきで決め、それぞれ夏の収穫をイメージしながら種まきを行いました。開校式では不安げな顔をしていた子どもたちも、これらの活動を通してみんなと関わることでだんだん打ち解けていったようでした。



夏野菜の種まき(4月)



みんなで並んで田植え(5月)

第2回 5月21日:「一緒に楽しく作業しよう！」

田植えを中心に行いました。程よく冷たくて気持ちよい泥に入って苗を植えていきます。その後、泥遊びが自然と始まってみんなドロドロになりました。遊んでいるうちは温かかったのに、すぐに寒くなってしまったので順番にドラム缶風呂に入って温まりました。また、4月に種をまいた野菜の苗を畑に植えかえるなど、今後が楽しみな農学校になりました。

第3回 6月18日:「つくる。～野菜をつくり、ものをつくり、絆をつくる～」

これからは虫に野菜の芽を食べるなどされてしまうので、野菜を守るための網をかけました。また鳥から守るために「かかし」も作りました。夏野菜はすくすくと育っていて7月には収穫できそうです。待ち遠しかったので、間引きした水菜なども調理して食べました。また、竹で箸や竹トンボをつくったりしました。



かかし作りしました(6月)



流しうどん(7月)

第4回 7月16日:「楽しく夏の暑さをしのごう」

ミニトマト、キュウリ、ピーマン、ナスを収穫し、まだまだ成長しそうなカボチャやトマトなどの他の野菜の手入れもしました。また、農園で収穫した小麦をいただいたので、粉ひき体験を行いました。小麦の実には意外に硬く、機械にかけると見なれた小麦粉になりました。この小麦粉を使ってうどんをつくりました。粉が完全に白くなかったらしく、うどんも不思議な色になっていました。6月の竹を使って流しうどんにして涼しげな農学校になりました。

第5回 8月26・27日:「キャンプ！朝も昼も夜もちえのわ！」

毎月の活動場所である東京学芸大学環境教育研究センターにテントを張ってキャンプをしました。

最初の活動は、ヤマメさばきです。生きているヤマメを実際にさばいて塩焼きにしました。カミソリをヤマメに入れるのはかわいそうでしたが、命を感じることができました。午後は、牛乳パックを再利用したはがきをつくりました。夜はナイトハイクの予定です。

2日目の午前には、先月収穫できなかった夏野菜たちの収穫・撤収を行い、白菜や大根、レタスなどの冬野菜の種をまきました。



はがきづくり(8月)



稲刈り(10月)

第6回 10月22日:「実りの秋・食の秋を楽しもう～前編」

例年恒例の雨の中の稲刈りです。今年はかかしのおかげか豊作でした。畑では、順調に育った野菜の間引きなど手入れをしました。また、春から育てていたサツマイモが収穫時期になったので、みんなで焼き芋やスイートポテトをつくったりして食べました。

第7回 11月5日:「実りの秋・食の秋を楽しもう～後編」

お米を脱穀・精米しました。昔ながらの足踏み脱穀機やとうみを使いました。稲穂をお米にしていくまでに色々な作業が必要で、普段食べているお米ができるまでは大変だと知りました。午後は、大豆から豆腐、小豆からあんこをつくりました。大豆から豆腐をつくる過程で、豆乳とおからができました。知っているものが途中でできることに驚いた子どももいました。



足踏み脱穀機(11月)



白菜収穫(12月)

第8回 12月11日:「食べて作って!冬を満喫しよう!!」

白菜やカブ、チンゲンサイ、ニンジンなどの冬野菜が例年よりもかなりたくさん収穫できました。採れた野菜は昼食の材料に。畑の後はピザ作りを行いました。パンがまを使って直火で焼いたピザはこげちゃったりしましたが、おいしく焼きあがりました。その他にも、松ぼっくりでクリスマスツリーをつくったり、サツマイモのつるでリースをつくるなどクリスマスが楽しみになるような企画を行いました。

第9回 1月21日:「農園でお正月～もちとすみと私～」

ついに今年度最後の農学校です。そして雨の農学校でした。今年度は当日に雨が多い年でした。午前にはちえのわ産のもち米を使ってもちつきをしました。午後は、今年度の農学校の思い出を書き初めにして表現するという振り返りをしました。きれいに書くのではなく、絵を入れてみるなど普段はできないような作品も見られました。最後の修了式では、今年度の写真をまとめたスライドを見た後、素敵な修了証が手渡されて今年度のちえのわ農学校が終了しました。

2011年度(第7期)は、天気にも恵まれ、例年にない大豊作の年でした。「種から胃袋まで」を実践する中で子どもたちも例年以上に、収穫の達成感とそれを食べる楽しみを感じることができたのではないかと思います。小菅から生きたまま運ばれたヤマメをさばいて焼いて食べ、子どもたちが命のつながりを感じるきっかけとなる体験も行いました。また、今年度は子どもたちのつながりの面でも意識したプログラムを企画し、異年齢間でのほほえましい交流も多く見られました。最後に、今年度のちえのわの活動を見守ってくださった保護者の方々や、施設関係者のみなさまに心よりお礼申し上げます。 2011年度代表 北翔一(東京学芸大学3年生)

「第8期 ちえのわ農学校」参加者募集!!

平成24年4月から開催する『第8期ちえのわ農学校』の参加者の募集をしています。詳細につきましては「サークルちえのわ」ホームページ: <http://www.justmystage.com/home/gakugeichie/index.html> もご覧ください。

『第8期 ちえのわ農学校』 対象: 小学校3年生～中学校3年生の男女18名

場所: 東京学芸大学 環境教育研究センター及び彩色園 参加費(年間分): 15,000円(食費・保険・材料費など)

①まずは、「サークルちえのわ」へ参加の申し込み。保護者住所、保護者お名前、子どもの名前と学年を書いてください。

・郵便の場合: 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 サークル ちえのわ 宛て

・メールの場合: gakugei_chienowa@yahoo.co.jp

②郵便かメールが「サークルちえのわ」に届くと、申込書や資料を郵送します(1週間以内に届かない時はご連絡ください)。

③お申込は2012年3月31日(土)必着です。応募者多数の場合は、4月1日に抽選を行いますのでご承知ください。

④ 第1回農学校は、4月21日(土)9:45～16:00で予定。当日は、保護者説明会も行う予定です。

活動案内

その1 冒険学校「みなかみ雪中キャンプ」3.30~4.1(2泊3日)

利根川の源流部である、群馬県みなかみ町。その山奥で、2mの積雪の中、2泊3日のキャンプを行います。キャンプ中はずっと雪の上で生活をします。焚き火も雪の上、テントも雪の上、ご飯も雪の上・・・何をするにも雪があります。そんな雪を味方にして楽しいキャンプをしよう！

ドラム缶風呂、星空(月)観察、雪山ハイキング、ソリ遊びなどなど、たくさんのおもしろいプログラムを用意してお待ちしております！

このキャンプを体験すると、どんなキャンプにも対応できる、すごい人になっちゃいますよ～♪



2mの雪中で生活しながらも焚き火は常に必要！！

日程：2012年3月30日(金)～4月1日(日)

場所：群馬県みなかみ町 三菱UFJ環境財団水源の森

宿泊：テント・雪洞・イグルーなど。

対象：小学校3年生～中学校3年生 20名

参加費：会員：¥15,000 非会員：¥17,000

※交通費は各自負担となります。ご相談ください。

集合解散：上越新幹線上毛高原駅 ※東京駅も可能です。

*寝袋や食器などのキャンプ道具は本会にいっぱいあるので、お貸しできます。

*参加希望者は、ハガキ・もしくはE-mailに住所・氏名・年齢(学年)・性別・電話番号を記入の上、3月16日(金)までに事務局まで参加をお伝えください。



最終日。2泊3日耐えた猛者たち。この後は温泉だぜ！！

冒険学校「みなかみ雪中キャンプ」は日本たばこ産業(JT)より『2011年度JT青少年育成に関するNPO助成事業』助成を受けて開催しています。

その2 立川環境フェア出展 4.22 立川市昭和記念公園

立川駅徒歩3分の昭和記念公園にて、「立川環境フェア」が4月22日に開催されます。

本会も小菅村から、ヤマメの塩焼き、ハチミツ(青柳竹男さんが作っています)、源流きらりの3品をもって出展、今年の目標はヤマメの塩焼き200匹完売！もちろん炭で焼きます。炭はキャンプでも使っている、小菅村の木下善晴さんのお手製の炭です！

手伝ってくれた方には、ヤマメをごちそうしますよ～(現物支給)♪



昨年は160匹を13:00過ぎに完売したので、今年は200匹を販売する予定です！
ヤマメの塩焼きをマスターしたい人は、ぜひ手伝ってください(^^)

その3 のびと講座「野草の天ぷらとお茶つみの会」4.29 日曜日

毎年恒例の「野草の天ぷらとお茶つみ」のデイキャンプをやります。普段は「葉っぱ」「雑草」として見落としがちな野草でも食べられるものがたくさんあります。野草を摘んで、天ぷらにして食べましょう。また、自分たちでお茶をつみ、蒸して、揉んで、飲みましょう。今年も好例の岩谷美苗さん(樹木医)による「キノコ探し」もメニューに予定しています。フランス料理の高級食材「モリーユ」が見つかるかも？

雨天決行です。友人・知人を誘ってぜひご参加下さい。



農場で採れたたくさんの野草！この後、天ぷらです。

日時：2011年4月29日(祝) 9:30~15:00

場所：東京学芸大学 環境教育実践施設(農場)

対象：どなたでもご参加ください♪

参加費：中学生以下：300円 高校生以上：500円

*当日参加もOKですが、事前に参加の旨を事務局までご連絡ください(材料の準備のため)。

*昼食は持参でお願いします(テンプラをするのでおにぎりなど。味噌汁は会場で作ります)。

*余裕のある方は9時ぐらいに来て準備を手伝ってくださると嬉しいです(^^)



お茶も朝からみんなで揉みます。

その4 冒険学校「むらまつりキャンプ」 5.3~5.5(2泊3日)

新緑がまぶしい、多摩川源流の小菅村で2泊3日のキャンプを行います。清流での川遊び、焚き火、山菜採り、テント泊、ご飯づくり、五右衛門風呂、お祭りの見学などなど、多くのプログラムを準備しております。

小菅村の「第25回多摩源流まつり」も開催されます！夜は、日本一のお松焼きと、山に響きわたる花火大会も見に行きます！ご家族での参加も可能な、ゆったりとしたキャンプですよ～！！



日程：2012年5月3~5日(2泊3日)

場所：小菅村のいつものキャンプ場

対象：子どもだけの場合は小学校3年生~中学校3年生
親子参加の方は幼児・乳児もOKですよ。

宿泊：テント泊、ログハウスでの寝袋です。

参加費：食費・宿泊費・保険代・教材費を含みます。

①会員：子どもひとり ¥15,000 非会員 17,000円

②会員：親子一組 ¥30,000 非会員 36,000円

※これ以上の組み合わせの時は、ご相談いたします。

※会員になると、今回から会員料金で参加できます。

*参加希望者は、ハガキ・もしくはE-mailに住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・性別・電話番号を記入の上、4月29日(祝)までに事務局までをお申し込みください。



『INCH の楽しい仲間たち』 vol.2

キャンプを行う時は事前準備と後片付けもあります。スタッフの皆さんには、「前日入り」「後日帰り」ということで協力してもらっています。ここ数年、最も出席率の良い学生さんを紹介しつづけます。あ、ちなみに一番滞在日数が長いのはいつもどおり、佐々木正久さんですよ！

「ヒッチハイクって親指立てて道路の脇でひたすら待つてるやつでしょ？」…実は違うんです！

今時のヒッチハイクはそんな消極的な態度じゃやっていけない！というわけで、

《実録！イマドキのヒッチハイク！》

はい、ばちばちぱち～。今時のヒッチハイク事情をお送りします、佐藤圭です。

僕は東京工業大学の大学3年生(3月現在)で、2010年に自然文化誌研究会(以下、INCH)の『むらまつりキャンプ』に、初めてスタッフとして参加しまして、それ以降、主に子どものためのキャンプのスタッフをやらせていただいています。

僕の趣味の一つにヒッチハイクというのがありましてです。去年、2011年の『まふゆのキャンプ』のときに、集合場所までヒッチハイクで行って、ヒッチハイクで帰る、ということをしてしまったら、事務局長の黒澤さんが、おもしろい！ちょっと書いてみる！と。いうことで、今回は、今時のヒッチハイクのやり方、というのを少しご紹介させていただきたいと思っています。



ヒッチハイクといえば、あのポーズ。分かりますよね？そう、親指立てて、アメリカのまっすぐ続く道路の脇で、通り過ぎる車が停まってくれる事を延々と待っている。ちょっと日本じゃできなさそう。そんなイメージありませんか？違うんです！日本でできます！親指立てません！「でも、すごい時間かかるんでしょ？」

大体の目安ですが、僕の自宅からだ東京～名古屋は車で約5時間かかるのですが、僕は6時間で行きました。一体どうやったのか。その方法はいたって簡単です。

【準備するもの】ダンボール、マジック、懐中電灯

具体的には、こうです。まず、スーパーかコンビニに行って「ダンボールありませんか？」と訪ねて、ダンボールをもらいます。次に、ダンボールを手頃な大きさにして、マジックでこう書きます。

「ヒッチハイク！」

僕はヒッチハイクをしているんですよ。ということさえ分かればいいんです！あと、お好みで「ちょっとだけでも OK」とか、「寒いです」とか(笑)。

普通、「海老名 SA」とか、「名古屋方面」とか、行き先を書くことを一般的に想像されるかと思いますが、東京の一般道(高速道路じゃない普通の道)を走っている車の中にピンポイントで名古屋に行く車なんて、ほとんどありません。そんな人に名古屋方面と書いたダンボールを見せても、「自分は名古屋には行かないから」となります。もしかしたらその中には、「方向さえ合っていれば、ヒッチハイカーが来たら乗せてやる！」という人もいるかもしれません。そういう人が、「ヒッチハイク！」と書いているダンボールを見たら、「あ、じゃあとりあえず乗せてみようかな」となるわけですよ。

だから、ヒッチハイクをしている、ということが分かる内容だったならなんでもいいです！「乗せて下さい！」とか、「この道まっすぐ」とか(笑)

ところで、そのダンボールを持って、なにをするんですか？

ひたすら道路の脇で待っている。じゃないんですよ！

一般道の場合、車が赤信号で停まりますね。そしたら停まっている車に突撃訪問します！車の窓をコンコンと叩いて、運転手さんと目を合わせて、ダンボールを見せて、いい人そうな感じを出します(笑)

(笑)とか言ってますけど、ここが一番大事なところですよ！

「お、ちょっとおもしろそうな子だな」と思われる事。それがヒッチハイクのコツです！基本は笑顔です。笑顔さえできれば、大体大丈夫です。あとは身振りなり手振りなりオリジナリティを発揮しちゃって下さい。

ね、簡単でしょ？とまでは言わないですけど、これで現実的に日本でヒッチハイクをすることができます！ちょっとおもしろいそうだなと思ったら、ぜひやってみて下さい。おもしろそう、じゃないんですよ。おもしろいんですよ！

『植物と人々の博物館』 vol.7

「エコミュージアム日本村」のロゴマークが完成した後、今度はのぼりと横断幕を作成しました。また5月4日の「第25回多摩源流まつり」では展示を行い、植物と人々の博物館も開放します。

『第15回 雑穀栽培講習会』のご案内

古くから栽培されてきたアワ、キビなど雑穀の在来品種の種まきを実習します。教えてくださるのは地元で伝統的な雑穀栽培をしてきた方々です。有機無農薬で栽培し、秋に収穫を行います！！ぜひぜひご参加ください～！！



雑穀を紹介しながら、種まきをみんなでいきます。



- 日時 : 2011年5月12日(土)
10:00 開始(現地集合・解散です)
- 会場 : 山梨県北都留郡小菅村
植物と人々の博物館および雑穀見本園

●内容 :

雑穀栽培実技講習：雑穀の栽培概要の解説
中川智・岡部良雄(雑穀栽培後術顧問)
雑穀の種播き作業をしながら、畑作に関わる伝統的な智慧のお話を伺います。

- 参加費 : 1,000円程度の予定
- 昼食は小菅の湯で食べましょう。
- 締め切り : 4月30日までに事務局までご連絡ください。

植物と人々の博物館友の会総会のご案内

雑穀栽培講習会終了後の夕方前後に、植物と人々の博物館友の会総会を小菅村で開催します。会員の皆さまには後日、通知をさせていただきますので、こちらもよろしくお願ひします。

のぼりと横断幕が完成！！

のぼりと横断幕が完成しました。ミュージズ研究会メンバーの広瀬晴彦さんが、発注などを担当してくれました。これからは行事の時にどんどん使用していきます！！



2月4日にミュージズ研究会も開催しました。

『小菅村の動き』 vol.7

今年によく雪が降りました。小菅村は除雪作業が早いので閉じ込められることはありません。夏の台風シーズンの方が、いろいろあるんです。

①『第 25 回多摩源流まつり』開催決定～！

今年は例年どおり、5 月 4 日に開催されます。本会は『冒険学校 むらまつりキャンプ』を行い、お祭りの会場や小永田地区の神代神楽を訪れますよ。

夜には日本一のお松やきや花火(山に囲まれているのでよく響きます)もありますのでお楽しみに！！

植物と人々の博物館でも、展示や案内を行います。詳細は、小菅村役場ホームページをご覧ください。

<http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/>

② 小菅川の釣り解禁

3 月 3 日の正午より、釣りの解禁となりました。まだ雪の残る小菅村ですが、多くの釣り人でにぎわったようです。小菅漁協のホームページもご覧ください。

<http://kosugriver.com/> にブログもあります♪

③ 小菅村体育館がいよいよ完成

植物と人々の博物館に隣接する、小菅中学校体育館の立て直し工事が進んでいました。この 3 月に、小菅村体育館としていよいよ完成します。



④山梨日日新聞(2月25日)より

村の中学生がデザインしました 小菅の湯せっけん、パッケージ新「源流の豊かな自然表現」

小菅村の温泉施設「小菅の湯」は、オリジナル商品として販売しているせっけんのデザインを一新した。小菅中の生徒がレイアウトや色付けを担当し、村内の豊かな自然をイメージしている。

イラストは新芽から滴がしたたり落ち、周囲にシャボン玉が浮かんでいる様子を描いている。デザインしたのは、小菅中 2 年生の大江友乃さん(14)、古菅竜司君(13)、古屋将君(14)の 3 人で、「多摩源流地域ならではの自然をPRするため、緑を前面に出したかった」と話す。



デザインを考案した小菅中の生徒

シャボン玉や滴など、パーツごとに各自がイラストを描き分け、1 枚の絵にまとめた。3 人は「小さいサイズなので、できるだけ分かりやすくなるように心掛けた」と話している。

せっけんは源泉と保湿成分を配合し、マイルドな肌触りが人気。3 年ほど前に販売を始め、当初は女性が入浴する写真がパッケージだったが「インパクトに欠ける」(担当者)と、中学生にデザインを依頼した。小菅の湯職員の古菅芳勝さん(47)は「大人には思いつかないアイデア。リピーターが多いので、人気商品として定着してほしい」と話している。



オリジナルせっけんの新パッケージ

せっけんは小菅の湯と隣接する物産館で販売し、100 グラム 650 円。

○ 今後の活動予定のお知らせ (2012年春～夏)

- 3/30～4/1 冒険学校『みなかみ雪中キャンプ』@群馬県みなかみ町
 4/21 『第8期ちえのわ農学校第1日目』@東京学芸大学環境教育研究センター(通年講座)
 4/22 『立川環境フェア』に出展します～ @立川市昭和記念公園
 4/29 『野草の天ぷらとお茶つみの会』@東京学芸大学環境教育研究センター デイキャンプ
 5/3～5 冒険学校『むらまつりキャンプ』@小菅村 2泊3日
 5/12 『雑穀栽培講習会』『植物と人々の博物館友の会総会』@小菅村 日帰り
 7月下旬 のびと講座『源流での登山道整備』@甲武信小屋周辺 2泊3日
 8/2～8/8 冒険学校『こすげ冒険学校』@小菅村 6泊7日
 8/11～12 冒険学校『やまめキャンプ』@小菅村 1泊2日
 8/12～13 冒険学校『いわなキャンプ』@小菅村 1泊2日
 8/18～27 のびと講座『タイ環境学習キャンプ』@タイ王国 9泊10日
- 『ログビルダー養成講座』は、毎月2回の週末を中心に活動しています。事務局までご相談ください。

やまめキャンプ、いわなキャンプの連続参加で2泊3日可能です!!

○ 事務局より

- 『フェイスブック、ツイッター、ミクシィ、ブログ・・・情報が発信しきれないや。クロ』
- 『4月からついに就職です。キャンプに時々顔を出せたらいいなあ。はるこ』

○ 事務局の麗しき日々 (KIDS 会報遅延の遅延による遅延のためのネタを披露♪)

- ・まーしーが東京に戻ってくるもよう(とりあえず浦和のもよう)。
- ・たのさん Jr. 誕生! おめでとございます。
- ・風馬はついに高校生!! スタッフデビューだ!!
- ・はるちゃんが専門職として働くのでクロは主夫になるもよう。
- ・木侯さんは南国を回遊しているもよう(タイ、石垣島ほか)。
- ・既に締切から1週間が過ぎているもよう。

○ 自然文化誌研究会 一緒に活動しませんか?

略称 INCH (インチ)。冒険・伝承・創造をキーワードに『国際的な視野で人間をとりまく自然と文化を野外において探求する野外環境教育のパイオニア』として、30年以上にわたって活動を続けています。2004年からNPOとして再出発し、活動の中心を山梨県小菅村に移し、子どもを対象とした『冒険学校』や市民を対象とした『のびと講座』などの山村の自然や文化を学ぶ活動を通じて、持続可能な社会を形成していく上で必須である環境学習の実践と農山村の振興を実現させるため、エコミュージアムづくりを行っています。

本会の運営は会員の皆様のご協力と、会費で成り立っています。ぜひとも会員の輪を広げていき、納入をお願い致します。本会の趣旨に賛同いただける方なら、どなたでも会員になれます。会員には以下6つの種類があります。なお、正会員のみが総会における議決権を持ちます。それ以外の会員は、総会にオブザーバー参加となります。会費は年額(1～12月)です。また、皆様からのご寄付も募っております。

正会員：10,000円 一般会員：5,000円

学生会員：3,000円 賛助会員(個人・団体)：10,000円

家族会員(一家族)：6,000円 特別維持会員：100,000円

小菅村特別会員：1口1,000円から

※新しく「特別維持会員」「小菅特別会員」を内規で決定しました。ご賛同の方はぜひぜひよろしくお願ひします。

郵便振替口座：00100-2-665768

口座名：特定非営利活動法人自然文化誌研究会



ナマステ 107号

特定非営利活動法人 自然文化誌研究会 会報誌
 <発行日> 2012年3月1日
 <編集> 自然文化誌研究会 事務局
 <発行> 特定非営利活動法人

自然文化誌研究会

The Institute of Natural and Cultural History

<事務局> 〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4115
 TEL & FAX: 0428-87-0165
 携 帯: 090-3334-5328 (黒澤)
 E-mail: npo-inch@wine.plala.or.jp
 H P: http://www2.plala.or.jp/npo-inch/